

第 8 期 pES club シナリオ 1

平成 21 年 1 月 18 日
東京北社会保険病院 総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巢医科大学附属病院内科の 3 年目後期研修医です。今日は内科外来の初診を担当しています。

佐藤徹さん（63 歳男性）は、10 年来の糖尿病で当院の糖尿病科に通院中です。今日は 1 週間前からの咳、鼻水、咽頭痛を主訴に受診しました。手早く上気道炎と診断したあなたは、PL 3 包分 3 とメジコン 3 錠分 3 を 5 日分処方し、外来を終了しましたが、その後カルテを見返して、先月の採血で HbA1c が 7.4% と高いことに気付きました。これまでの検査歴を見ると、3 年ほど前までは 6.0% 程度でしたが、それから徐々に上がってきているようです。初期研修の時に糖尿病のコントロール目標は HbA1c 6.5% 以下にすると聞いていたあなたは、佐藤さんの主治医である楠力雷先生に相談してみました。

あなた「先生、いつも先生の外来にいらしている佐藤徹さんが、今日風邪を引いて私の外来を受診なさったのですが、以前の検査歴を見たら、最近血糖コントロールがうまくいっていないようです」

楠力先生「そうなんだよ。あの人は今アマリール 3mg 分 1、メデット 750mg 分 3、グルコバイ 150mg 分 3 と糖尿病の内服薬を 3 種類も飲んでるのに、最近血糖が上がってきたんだ。そろそろインシュリンじゃないとダメかなと思ってるんだけど、本人がどうしても注射は嫌だというんだ」

あなた「でも、このままじゃ心筋梗塞で死んじゃいますよね」

楠力先生「いや、確かに血糖は低くしないとイケないんだけどね、血糖値よりも血圧の方が大事だからね。佐藤さんはタナトリル 5mg 分 1 を飲んでいて血圧が 120/75mmHg 程度に抑えられているから、多少血糖値が高くても大丈夫だよ。血糖コントロールを厳格にする集中治療を行うと、かえって早死にするとも言われているんだ」

あなた「え！？そうなんですか？」

楠力先生「どうしたらいいかなあ。先生、ちょっと考えてみてくれる？」

あなたは佐藤さんに血糖コントロールを厳しくする集中治療を行うべきかどうか調べてみることにしました。

第 8 期 pES club シナリオ 1 (追加シナリオ)

平成 21 年 1 月 18 日

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

佐藤さんは会社の役員で仕事も忙しいので、どうしても食生活は偏ってしまいます。接待などで外食も多く、飲酒量も毎日日本酒 2 合程度を飲んでいきます。佐藤さんは送迎付きの社用車で通勤しており、運動はほとんどやっていません。血糖のコントロールが次第に悪くなるにつれて、内服薬も徐々に数が増えました。薬は忘れずきちんと飲んでおり、最近、特別血糖が悪くなった原因は思い当たりません。

佐藤さんは、糖尿病を治さなきゃいけないなあと思っはいるものの、仕事が忙しいため、どうしても健康のことは二の次になってしまいます。

インスリン治療は、母がやっていたのを見ていたため、なるべくなら避けたいと思っはいますが、心筋梗塞で亡くなった父を見ているので、心筋梗塞にならずに済むなら、インスリンの注射もやむを得ないかと思っは始めています。